

チュチェ思想の活力に関する研究

セイバー・バロール

ダマスカス大学政治学部博士

国際舞台での生活を理解し始めた幼い頃から、朝鮮の革命思想に関連する分野に興味があり、人生の早い段階で、金日成主席の創造的な思想に感動し、興味をそそられました。

私はいつも、なぜこの思想にとっても感銘を受けるのか、自分の信念が間違っているのかについて自問していました。

実際、チュチェ思想によって具現されたこの革新的な知的遺産は、それが適用される現場で目指しているものの素晴らしさによって認識されていると言います。思考は現実と調和し、社会の悲劇を終わらせ、自主的創造的に社会活動を遂行する上で思想を適用する社会の必要性和調和しました。

誇張なしに、朝鮮民主主義人民共和国が国家を構築するための闘いの歴史を評論する人は誰でも、社会主義と価値観の保存から始めて、朝鮮がすべての分野で大きな不滅の成果を挙げたことを間違いなく認識しています。社会正義は強くて繁栄し、すべての逆境と困難に逆らう生産的な基盤が築かれました。

今日、朝鮮民主主義人民共和国は、強力で、敵に軍事的に評価される有能な国家であり、強力な経済と政治水準で重要な役割を果たしている模範的な国家です。

軍事力は、あらゆる侵略と米国とその追隨者によってもたらされた陰謀への対応において永久に封じ込めたことは明白でした。

力強い経済は、日々質が高まっている産業と農業の繁栄によっても実証されており、その政治的有効性は、国際水準でその自主を主張することができるという事実によって証明されています。

朝鮮は今日、地理的規模と人口の点で小さな国と見なされていますが、国際的な舞台では、無視できない大きくて活発な国です。

ここで、何が原因で、何が大きな成果を上げたのかを振り返ると、この国は、金日成主席がチュチェ哲学と独自の結束に基づいて設立し、建設したものであることが明白です。人民、党、軍隊の間で、そしてそれは歴史を通して賢明で安定した指導者によって設立されて以来導かれてきたからです。

金日成主席が展開した経験と彼の独創的な指導と活動方法、チュチェの基盤の上に築かれた寛大さと創造性は、金正日総書記、そして今日、尊敬する同志の金正恩総書記の指導の下で続いています。

朝鮮半島における米国とその追隨者による悪と侵略、継続的な封鎖、不公正な制裁と陰謀にもかかわらず、朝鮮は党の指導に従い、朝鮮人は成果を上げ、自主的で強力な繁栄した国家を築きました。

チュチ思想は人間の本質的な要因を採用しています。それは、自身の資源と力に依拠することによって、その強力な経済を達成しました。そして、世界の社会主義諸国が崩壊したとき朝鮮はその偉大な革命的遺産を保存しました。朝鮮の人々はまだ社会主義と繁栄した国家を構築することに自信を持ち急速に成長しています。

世界の国々は今日、チュチェ思想のような創造的で自主的な思想を切実に必要としています。多くの人にとって、おそらく最初のもは、人間を考慮したチュチェの永遠の思想です。地球上で最も貴重な存在であり、人民大衆が自主を打ち立て自身の運命を創造するための正しい道を啓発しました。

人間社会の発展の歴史は、自主性を擁護し達成するための大衆の闘争の歴史であると考えられました。チュチェ思想は、自主に対する人民大衆の願望を正確に反映する世界の新しい科学的見解であり、この思想は、間違いなく理論的な知的基盤であり、革命と建設のための唯一の指針を構成します。

この考えは、革命と建設の主人が人民大衆であり、彼らが革命と建設の原動力であることを確認します。言い換えれば、人は自身の運命の主人であり、それを切り拓く決定的要因です。

金正日総書記は、「チュチェ思想の歴史的意義は、チュチェ時代に求められる一般的な現実の革命的な世界観を明らかにし、革命理論の発展に新たな進歩をもたらしたことである」と述べました。

これを証明した歴史的事実と経験から、チュチェ思想で、世界の進歩的な人民は、解放に到達するための帝国主義との闘いにおいて強力な効果的な知的武器を持っていることが確認できます。

問題の重要で非常に論理的な問題は、人は自分が自己の運命の主人であると確信するとき、比類のない意志と途方もない力を持ち、原動力であるという自信を持っている必要があるということです。また創造性はすべての成功と勝利への基本的で非常に重要な鍵です。

これが朝鮮人民に起こったことであり、朝鮮人民は日本の植民地支配から比類のない勇気と力で祖国を解放し、米国主導の帝国主義連合軍の侵略に立ち向かい、勝利を収めました。勝利後、チュチェ思想は、比類のない創造性、意志、決意を持った朝鮮人民を生み出したからです。チュチェ思想のおかげで、人民大衆は主人になり、自国の建設に参加しました。

革命の初期以来のチュチェ思想の金日成主席の業績は、朝鮮の人々はその歴史を通して直面した問題、困難、苦難の解決に貢献しました。この創造的な理論は、朝鮮人民を正義の道に導いた理論です。真実と永続的な勝利、そしてそれは自主を保証しました。

チュチェ思想のような創造的な思想の現時点での必要性を課し正当化する考慮事項の2番目については、それが思想では促進された論理と信念への回答であるということです。これらの信念と思想は、米国と西欧諸国の側から発せられる社会の破壊的な動きから、今日の米国が人類の真の敵であると考えられています。これらの信念の中で最も重要なことを意味します。現代の自由主義の傾向によって具体化されたこの流れは、多くの人には明らかではなく、それを知っている人はほとんどいません。もちろん、古い意味での自由主義とは異なります。

現代の自由主義は今やアメリカの市場民主主義について話しているようなものです。彼らは人々の支配のために民主主義を利用し、戦争を行うために人権を利用します（そしてこれはバッシュャール・アル・アサド大統領の知恵で表現されました）。その方法論の基本は、道徳的衰退を完全に売り込み、目標を達成するために、人間を原則、価値観、所属、または信念から分離することです。

この自由主義の目標と目的を精査すると、人間を攻撃する必要があることに気づきます。ここでは、チュチェとその高尚な思想が反映するようになったため、すべての建設的な考えと矛盾します。

現代の自由主義は人間を人間性から分離するようになります。この信条の方法論は、それが人に信念に属さないように仕向けるので、信念を拒絶することです。その方法論は、個人を集団から切り離し、人間の通常の場合として個人に転送することです。

したがって、欲望だけの個人主義になります。この個人の欲求は社会に関係なく存在するので、個人の欲求は基礎であり、家族やより大きな社会ではありません。

これらからの個人の分離価値観は2番目の方法論です。家族と祖国からの分離、彼は何にも属していません。彼は自宅で自分自身に属しています。そして彼はこの自由な信条に属しています。彼らはこの信条が教義ではありませんが信念を拒絶します。実際にはそれは教義であり、非常に危険なものです。

自主の考えは、人民大衆が社会史の活発な主人であり、人間社会の発展の歴史は人々の大衆の闘争の歴史であると断言していますが、現代の自由主義は個人を強調しています。具体的には、必要な方向への指導を促進するために、彼をその人間性と彼の価値観と信念から分離します。要するに、現代の自由主義は政治的目的を持った思想であり、チュチェ思想によって提案された社会構造とは完全に反対の社会構造を確立しているのです。

今日の社会はチュチェを活性化し、国際的な場面でのすべての破壊的な考えに対応する方法としてそれを採用する必要があります。今まで以上に真剣に、そして常にチュチェ思想の純粋さを維持し、それを深め、発展させるために努力する必要があります。論理と誠実さで朝鮮の経験を研究し、現場とすべての水準での成果の大きさと量を見る人は誰でも、この思想が社会の発展においてどれほど創造的で正しく純粋であるかを知っ

ているからです。朝鮮の発展と繁栄の秘訣は、チュチェ思想を通じて金日成主席が生み出した知的遺産によるものであると言っても過言ではありません。

現時点でチュチェ思想を堅持し、維持することの重要性と必要性を強調する3番目の非常に重要な点は、以前の期間に社会主義思想一般とチュチェ思想への継続的な攻撃があったということです。特に今日のグローバリゼーションとその手法は、政治的、社会的、経済的システムとしての社会主義がそのすべての能力を使い果たし、その役割を失い、資本主義が社会主義に打ち勝ち、社会主義が崩壊したことを含め、非常に危険な思想を売り込みました。

この嘘と捏造は私たちが対応できるよりも少ないですが、それでも確かにあります。世界では社会主義のいくつかの建設で既存の社会主義思想の適用で行われた間違いがありますが、人類はその遺産を放棄することはできません。そして歴史的事実は、社会主義をしのぐ知的、哲学的、または体制がないことを確認しています。

政治的に言えば、社会主義のおかげで人々は大きな勝利を収めたのと同じように、それは人々と社会の問題に幅広い希望と素晴らしい人間の解決策をもたらしました。植民地体制は、それらの社会を高度な水準に動かし、多くの人々と社会の絶対的な主権を確保しました。社会主義が人々に何を提供したか、そしてそれが哲学的にそして実際に人間開発全体に何を提供したかを人類が忘れることは非論理的です。

いくつかの社会主義の経験で間違いがある場合、これは思考の欠陥を意味するのではなく、むしろ歪んだ適用、そしてこれらの主張と命題の前、そして残りすべてへの攻撃の前にあることを意味します。

世界的な社会主義思想の中で、革命的なチュチェ思想を維持・深化させる必要があると断言します。

第4のポイントは、国際情勢で起こったこととチュチェ思想がもたらしたものについての正確な理解の欠如を、多くの知識人にもたらしたということです。したがって、チュチェ思想を広め、理解するのが難しくないように、そして世界水準での発展と変化に沿って、明確かつ体系的な方法でそれを提示する必要があります。そしてこの問題はチュチェ思想がその輝き、その有効性を維持し、誤解を招く修正主義からそれを遠ざけることを目的として、すべての流れの減速または日和見主義との対決のために真剣に行われます。透明性と明快さはチュチェ思想の本質と内容を保存し、その強さを増し、より魅力的にするための基礎です。

したがってチュチェ思想の強調は、この思想の誤った解釈と多くの人々による正しい理解の欠如に起因し、この点に関して明確にする必要があります。非常に重要な多くの質問があり、思想のための会議が開催されると想定されています。チュチェ思想の誤解を避けるためにそれが近い将来にもたれることは妨げることはできません。

第5のポイントは、チュチェ哲学が哲学史の発展において何を達成したかについて混乱があるということです。その役割はマルクス主義の唯物弁証法の発展にあるのでしょ

うか、それとも人間に基づく新しい哲学の原則でしょうか。ここで、チュチェ哲学は世界と人間の関係についての新しい概念を提示し、人間の運命を形作る方法を啓発したことを強調しなければなりません。チュチェ哲学は、人間の本質的な特徴に焦点を当て、人間を世界でより優れた有能な存在として提示し、世界の新しい見方を提示することで、歴史上初めて科学的な解明を行いました。すべては人によって制御され、変更されます。

確かに、唯物弁証法の世界観とチュチェ哲学の世界観には根本的な違いがあります。2つの哲学の違いは、人間の見方の違いにあります。チュチェ哲学を正確に理解することの重要性は、唯物弁証法を世界でのマルクス主義の適用の誤りと混同しないという点で非常に重要であり、チュチェ哲学は以前の哲学には適用されない創造的理論です。

第6のポイントは、ギャップが強調され、参照され、そこに立っていると仮定すると、価値のある思想とこれらの思想が世界に適用されるものとの間のギャップが増加します。つまり、主な問題は理論と思考と現実の間の実用的なものです。

チュチェ思想は、言葉と行動で、主体の良心と良心にあると言いますが、確かに理由を検索すると、その理由は献身的で偉大な指導者の存在であることが確認できます。チュチェ思想のおかげで、すべての基準が高水準の社会の形成につながるよう、彼らは献身的かつ誠実に実践しています。創設者の金日成主席、そして思想を豊かにより洗練したものに発展させ故金正日総書記、そして現在は彼らに忠実で偉大な知的遺産に忠実な金正恩総書記が同じように続けています。金日成主席が望んでいたように、金日成主義の精神を現実に適用しました。

最後に言及したいのは、私が所属するアラブ諸国で私の党(アラブ社会主義パース党)のあいさつと、その統一、自由、社会主義の目標を心から信じていることです。私は、アラブ国家は自由の旗の下で団結する運命にあると信じています(自由で独立したアラブ国家)。革命党の終焉、既存の思想の終焉、社会主義の崩壊からいくつかの水準で提起されたにもかかわらず、アラブ諸国の未来のための社会主義(社会正義)の信者である私は、バシヤール・アル・アサド大統領が、米国を中心に世界で悪の勢力が繰り広げた何年にもわたる不当な戦争の後、私の故郷であるシリアの平和と安定に到達するという、賢明で想像を絶する指導に自信と信念を持っています。今日のシリアの状況は、朝鮮民主主義人民共和国が経験した状況を思い出させます。状況は非常に似ています。

上記に基づいて、チュチェの指導の道を歩くことは、世界の人々のための帝国主義の征服からの救いへの道です。朝鮮民主主義人民共和国とシリアは、植民地主義と帝国主義によって分裂が課された分裂国家に属しており、統一が必要であり、現実の状況はそれぞれなので、私たちの目標を達成する必要があります。

一つの土地で一つの国になることです。両国は、領土の統一を防ぎ、真の独立を損なうために、世界の帝国主義によって陰謀を企てられています。米国は、アラブ諸国であろうと朝鮮であろうと、内政への露骨な干渉を続けています。

さまざまな形の干渉があります。したがって、シリア人として特に朝鮮人と私たちを結びつけるのは、米国が主導し、アラブ地域の「イスラエル」によって作成された世界的な抑圧と不公正、および朝鮮半島のアメリカの挑発とその追隨者に対する1つの拠点です。要するに、シリアと朝鮮で私たちの目標と願望を達成するのはチュチェに基づく自主と建設であり、チュチェの適用は、朝鮮の経験がその活力を証明しているため、国際舞台ですべての抑圧された国の勝利と繁栄になります。この創造的な思想は、チュチェ思想を世界の人々に、世界の帝国主義の計画を阻止することを投げかけました。

最後に、この点に関して、私たちは、各国に国を率いる革命党が存在することを指摘し、ここで、革命党は尽きることがなく、人類の歴史、現在、未来においてその役割が終わっていないことを強調します。

社会主義に関してと同様に、思想の場合もそうです。なぜなら、特定の経験の崩壊は思想が間違っていることを意味するのではなく、これ主張する人々は西洋の政治を売り込んでいる米帝国主義陣営に奉仕し、そして今日の世界に代替手段がない唯一の道としての経済的自由主義を採択しているからです。

楽観主義と勝利と繁栄への希望を求めるのは、両国の首脳に、勇気と知恵と多くの配慮を持った経験豊富な若い革命指導者がいるということです。今日の朝鮮では、金正恩総書記は金日成主席と金正日総書記の信条を継承し、そしてバシヤール・アル・アサド大統領は、現代シリアの創設指導者ハフエズ・アル・アサド（金日成主席と金正日総書記と朝鮮人民の愛する友人）の足跡と軌跡を踏襲しています。

彼らは二人とも、米国帝国主義とその追隨者の傲慢と専制政治との闘いという同じ道を進んでいます。

最後に、チュチェ哲学とチュチュ思想について書かれ分析されたすべてのものは、チュチェ思想の科学的、信頼性、論理的および実用性を明らかにし、それを創始した人々の才能と洗練された思考を示しているため、あらゆることが確認できます。

国家と社会を構築する基盤の定数としてその指導に従った人々の知性。それは自主時代の重要な考えであり、人類の不公正、占領、征服を拒否し、人間の尊厳を与えた人間のための指針です。実際、チュチェ思想は、自主性擁護を導く重要な指針であるため、自主の時代に向けた人間の進歩の道を明確に照らしているため、世界の人々の心を捉えたことが確認できます。